

矢巾スマートインターチェンジの整備効果の検証と利用促進について

平成30年3月に供用開始した矢巾スマートインターチェンジの令和2年中の整備効果の検証及び利用促進について、お知らせします。

◆ 矢巾スマートICの利用状況について

○令和2年の1日平均の利用台数は、2,600台で、計画交通量の1,900台を上回るご利用をいただいています。

○令和2年8月には、供用開始からの累計利用台数が200万台を突破しました。

◆ 矢巾スマートICの整備効果について

①居住者・来訪者の利便性向上による交流人口の拡大

県南地域（花巻・北上・水沢）からの利用者が約30%と最も多く、物流集積拠点である岩手流通センター及び岩手県内唯一の特定機能病院である岩手医科大学附属病院を目的地とした利用者が多く見られています。

②物流の効率化による企業誘致の促進及び地域産業の活性化

矢巾町内の事業所数は、令和元年度が990か所、令和2年が1031か所と増加傾向にあります。また、岩手流通センターに至近する位置に東北エリア最大級の物流拠点が令和5年の冬に開業予定として計画しています。

③救急医療機関へのアクセス性向上による救命率の向上

救急医療提供を求める患者の搬送時間の短縮により救命率の向上が期待でき、令和2年は、県央地区を中心に、約2600人が救急搬送の際に矢巾スマートインターチェンジが利用され多くの方の救命率向上が図られたものと推察されます。

◆ 矢巾スマートICの課題について

矢巾スマートICは、上下線の出入口が異なっていることから誤進入する車両が後を絶ちません。

矢巾町では、誤進入車両の抑制を目的に町広報やホームページでの呼びかけ、関係機関と連携した案内看板の充実、誤進入車両のUターンスペースの確保等の対策を講じています。

◆ 今後の利用促進について

- ・町広報やホームページ等でのPRのほか、各種案内パンフレット等への掲載を行います。
- ・利用者アンケートを実施し、利用者の分析を行い、より利用しやすいスマートインターチェンジを目指します。
- ・誤進入車両の抑制を目的に、より分かりやすい案内看板の表示に努めます。

今後もPDCAサイクルにより、継続的にフォローアップしてまいります。

お問合せ先 矢巾スマートインターチェンジ地区協議会事務局（道路住宅課内）

電話 019-611-2632 E-mail douro@town.yahaba.iwate.jp